

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	36135
事業名	焼却灰リサイクル事業費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 施設管理課				
	課長名	犬伏	担当者名	池田	電話番号	011-211-2922
施策名	主	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組むと				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期 焼却灰のセメント化リサイクルを推進する。				
		長期 最終処分場の延命化及び循環型社会の構築を図るため、焼却灰のセメント化リサイクルを推進する。				
	取組内容	①白石・駒岡清掃工場から発生する焼却灰をセメント資源化するため、資源化施設への輸送を行う。 ②白石・駒岡清掃工場から輸送された焼却灰について、前処理・焼成を行い、セメントとして資源化を行う。 ①、②の令和5年度の輸送量と資源化量は19, 000トン実施する。				
	実施結果	令和4年度は、17, 937トンの焼却灰の搬出・資源化事業を実施した。				
事業実施における工夫点	清掃工場の定期整備等により限られた焼却灰搬出スケジュールを調整しながら効率的な搬出に努めた。					
対象者	市民			開始	0 年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
他都市の状況	他都市でも焼却灰をセメント原料としてリサイクルしている事例がある。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	502,598	541,000	515,350	613,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	502,598	541,000	515,350	613,000
事業費の内訳	令和4年度決算	資源化394, 614千円、輸送120, 736千円		
	令和5年度予算	資源化480, 700千円、輸送132, 300千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	焼却灰セメントリサイクル量(t)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		17,512t	19,000t	17,937t	19,000t					
活動指標2		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
成果指標1		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
成果指標2		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由								
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	計画19,000トンに対し17,937トン 約94.4%達成 白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。 駒岡 4,525トン 白石 13,412トン								
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	アクションプランにおいて、焼却灰リサイクル(セメント資源化)は最終処分場の延命化および循環型社会構築を図るものとして位置づけられており、同計画で年間19,000トンのリサイクルを実施することとされている。								
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	焼却灰リサイクルは、セメント原料に焼却灰を混ぜて使用するものであり、一般廃棄物処理施設の許可を受けているセメント製造事業者以外での実施は不可能であるため、委託することが適当である。								
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	埋立処分している焼却灰をリサイクルすることにより、最終処分場の延命化につながると同時に循環型社会の形成に寄与する。								
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☐ 反映					
今後の改善点	焼却灰リサイクルの更なる推進及び各清掃工場から資源化施設までの輸送効率の向上を図る。									
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
今年度取り組んだ見直し内容	焼却灰リサイクルの処理単価上昇により、リサイクル量の見直しを行った。			見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
評価の理由	埋立処分している焼却灰をリサイクルすることにより、最終処分場の延命化につながると同時に循環型社会の形成に寄与する。									
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止 令和5年度のリサイクル量は19,000t。リサイクル量増量について検討を進める。								
	予算	☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 最終処分場の延命化につながると同時に循環型社会の形成に寄与するため、事業を継続実施する。			見直し効果額	143,000 千円				